

日々新聞

貞信二馬

奈良縣下長谷寺近傍
 小て西国灵場巡礼の
 被害され一月の
 二十九日の未明ありて
 夫婦又娘と
 二人は路
 用の金貨
 三百円金貨
 何に眼の眩む宿に主人の故
 うを空を月夜のやすきを夜
 させいの奸計にて途中に待と白浪を宿の亭主お暴殺
 されを又時金貨を懐中せし娘はうを記令を取
 さまひあがう漸と人家を尋到りけり此の豈圖や元の宿之
 やがて毒く様子を物語るを傍に聞居る富山の薬商の
 宿を怪して娘の言食め二計に當り宿の淫すお官吏より
 縛せしむと 狸の堂徳



池田善徳
 願平三

